

質 問 回 答 書

工事名： 曾良漁港（大規模査定 6 災 1103 号）災害復旧工事

質問 1. 13 護岸について、クレーン船を使用して海側から陸に向かい施工する計画になっておりますが、水深が浅い場合また、航路が狭くクレーン船が施工付近まで寄れない場合は、クレーン船では作業半径が遠くサイレントパイラーを終点部（陸側）回収が困難となるので、自走後退装置施工等の別途、ご協議をお願いします。

回答 1. 別途協議にて対応します。

質問 2. 神出橋（終点）端部締切鋼矢板がバックハウバイブロ打設となっております。周辺構造物他等（橋・浄化槽・家屋・架空線・道路規制）考慮するとサイレントパイラーでの圧入等の再検討が必要ですので別途、ご協議願います。

回答 2. 別途協議にて対応します。

質問 3. 22 護岸について

（１）柱状図では N 値が 25 以上となっております、WJ 併用圧入施工（66 枚）でのご協議をお願いします。

（２）圧入機の設置・撤去費及び圧入時の鉄矢板運搬台船 200t の追加等をご協議願います。

（３）積算資料単価表では WJ325L/min の計画です、N 値 50 超えの為 WJ900L/min 程度の容量が必要のため施工前の別途ご協議をお願いします。

回答 3. 別途協議にて対応します。

質問 4. 21 護岸について

（１）柱状図では N 値が 60～125 となっております WJ 併用圧入施工（249 枚）でのご協議をお願いします。

（２）圧入機の設置・撤去費及び圧入時の鉄矢板運搬台船 200t の追加等をご協議願います。

（３）積算資料単価表では WJ325L/min の計画です、N 値 50 超えの為 WJ900L/min 程度の容量が必要のため施工前の別途ご協議をお願いします。

回答 4. 別途協議にて対応します。

質問 5. 海上施工に伴うクレーン台船と台船の支障になる個人所有の船舶の移動箇所は決まっておりますでしょうか、また、近隣住民への説明会の予定はございますかご教授願います。

回答 5. 船舶の移動について決まっていますが、港内での移動を想定しています。また、工事の説明は工事契約後に区長等に行う予定です。

質問 6. 工事沿線の家屋調査は実施済でしょうか、必要に応じて別途ご協議をお願いします。初期打設はバイブロハンマー工法の計画ですが、近隣住民からの影響及び振動等でご意見が発生した場合は別途、ご協議をお願いします。

回答 6. 家屋調査については、別途業務にて実施予定です。また、近隣住民様からのご意見等をいただいた際、別途協議の対象となるか判断します。

質問 7. 軟弱地盤での鉄矢板圧入工の場合は、機械重量により鉄矢板の左右の倒れ、傾斜が発生することもあります。鉄矢板品質保持のため鋼材による締結、溶接作業が補助工として発生した場合は別途、ご協議をお願いします。

回答 7. 別途協議にて対応します。

質問 8. クレーン台船等、船舶の調達困難の場合は別途、ご協議をお願いします。

回答 8. 別途協議にて対応します。

- ※ 質問数が5より多い場合は、適宜、枠を増やして下さい。
- ※ 質問書を添付する際は、PDFに変換しないで下さい。
- ※ 質問書の題名、説明要求内容には、特定の企業名や個人名を記入しないで下さい。